



学校周辺の危険場所を記した地図  
を作る並柳小の児童—松本市で



**犯罪の危険箇所  
学校周辺で確認**  
松本市立並柳小  
街中で犯罪が起こり  
やすい危険な場所を子  
どもたちが見つけた。こ  
れを「地域安全MAP」  
教室（だいちじょう  
あん）キャンペーン実行  
委員会・長野エフエム  
放送主催、東京海上日  
動火災保険協賛）が10

日、松本市立並柳小学  
校で開かれた。  
教員も子どもたちに  
危険認知能力を身につ  
けてもらうため、全国  
各地で開かれている。  
この日は同小児童約40  
人と保護者が参加。子  
どもを連れ去ろうとす  
る不審者が現れやすい  
場所として、犯罪学が  
専門の小宮信夫・立正  
大学教授が「公園な  
ど入りやすく、出や  
すく、開から見えに  
くい場所が危ない」と  
解説した。  
五つの班に分かれ、  
東京海上日動火災保険  
と代理店の社員が先生  
役となり、学校周辺の  
道路や公園などを回っ  
た。塀や木で見えにく  
い所があるかなどを確  
認。学校に戻り、危険  
箇所を書き入れた地図  
木修翔さん10は「普  
通に思っていた場所が  
危なかった。小宮教授は  
「周りをよく見て、危  
険な場所には一人で行  
かないように」と呼び  
かけた。  
参加した5年生の鈴  
木修翔さん10は「普  
通に思っていた場所が  
危なかった。小宮教授は  
「周りをよく見て、危  
険な場所には一人で行  
かないように」と呼び  
かけた。」

段使っている道でも  
気をつけないといけ  
ない所があることが  
分かった。「入りやす  
く、出やすく、見えに  
くい」のキーワードを  
頭に入れて通学路を  
歩きたい」と  
話していた。  
【小川真樹】

2018年11月11日(日)付 毎日新聞 長野県版  
「地域安全MAP教室」 松本市立並柳小学校実施分 報告記事